

4章 ブランド展開方策（第3期）

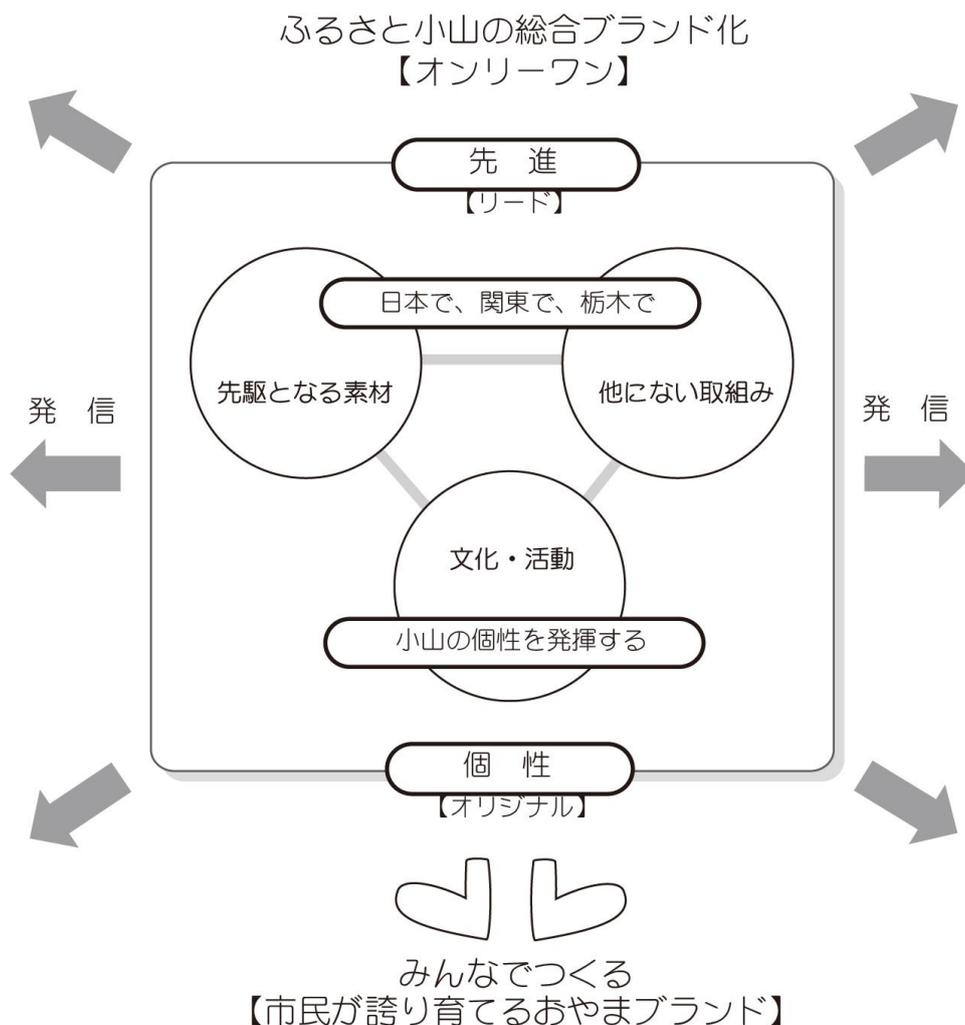
4-1. おやまブランド創生の基本的コンセプト

1) ブランド創生の基本的コンセプト

おやまブランドの創出は、ますます厳しさを増してきた都市間競争のなかで、小山の確実な成長・発展のための大切な課題となっています。

北関東の拠点都市として輝くまちとなるためには、個別の特産品づくりだけでなく、戦略的・体系的なブランド展開が必要であり、その方向性が市民、学校、企業、行政との協働から発想され育まれていくことが重要です。

この考え方を第1期計画策定の際に「ふるさと小山の総合ブランド化」として、以下のように整理しましたが、基本的な考え方については、第3期計画においても継続します。



2) ブランド創生のキャッチフレーズ

第1期計画の策定にあたっては、「農畜産物からなる観光特産品を主体とするブランド展開から、まちづくり全体を見据えたブランド展開を目指していく」必要があると考え、ブランド展開の方向性を総合的に表出するキャッチフレーズを定め、ブランド創出にあたっての基本体系を構築しました。

「おやまブランドの創出」は、目標となる地域の将来像を明らかにし、その実現に向けて強力な牽引力となるような役割を担っています。最も大切なことは、市民がその大切さに気づき、探し、育て、広めるという活動の主演となることです。

その思いを表現するために総合的キャッチフレーズが定められています、第3期計画においては以下のとおり見直しました。

* 現行計画

みんなが誇り育てる オンリーワンおやまブランド

躍進する未来に向けて
広がれ！ふるさと小山発信ムーブメント



【変更】

みんなが誇り育てる 開運のまち おやまブランド

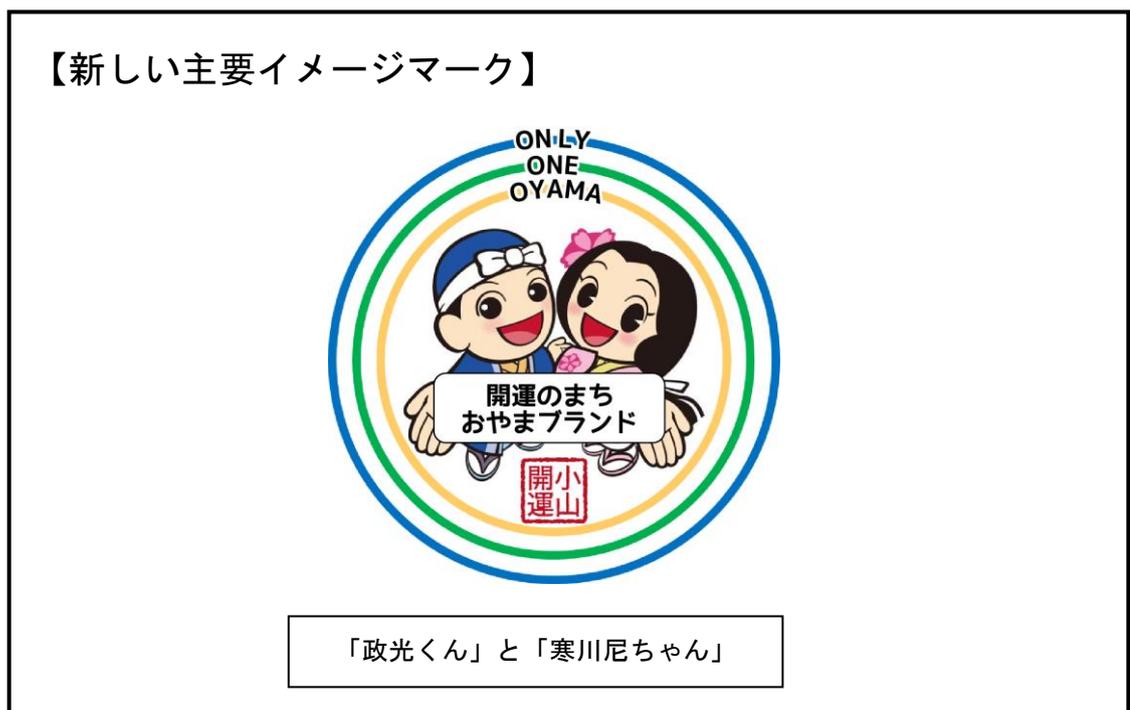
躍進する未来に向けて
広がれ！ふるさと小山発信ムーブメント

- ・みんなが誇り育てる 小山のブランドを市民が共有し、発送し、広めていくことを表す
- ・オンリーワン 小山のブランドは小山そのものを表象し、他都市との差別化が図られていることを表す
- ・開運のまち 全国レベルで知られる「小山評定」を背景にした「開運」という、これまで使われてきたキーワードを採用。
- ・サブキャプション 小山の未来への成長力をもとにブランドを広め、発信していく運動、活動を推進していく姿勢を表現。

3) 「おやまブランド」 推進の総合的イメージ・マーク

第1期計画の策定に際しては、「ピンキーちゃん」が既に「おやまブランド創出」の推進の総合的なキャラクターの役割を担っていたことから、代表的イメージとして設定されました。

今回の見直しに際し、おやまブランドのさらなる認知度アップに向けて、以下のとおり見直しをするとともに、様々なブランド選定品等に小山ブランドであることをシールや印刷等明記し、展開していきます。



4-2. おやまブランド創生の7つの体系

「おやまブランド」創生・発信推進計画（第2期／平成26年3月）において定められた7つの体系について、その後のブランド展開や施策の進捗と今後の推進のための課題等を整理した結果をもとに、体系の検証と一部見直しを行いました。

1. 農畜産物・本場結城紬をはじめとする伝統工芸のまち

- 1-1 既存ブランド選定品の拡充・展開
- 1-2 新しい産品や利用法の開発
- 1-3 本場結城紬をはじめとする歴史ある伝統工芸品

2. 歴史・開運のまち

- 2-1 「開運のまち」をキーワードとした歴史ブランド展開
- 2-2 地域の歴史の発見・掘り起こし

3. 思川・思川桜・渡良瀬遊水地のまち

- 3-1 母なる川「思川」の活用
- 3-2 「思川桜」でまちを彩る
- 3-3 渡良瀬遊水地の賢明な活用の3本柱

4. ハンドベル・映画・花火の市民文化のまち

- 4-1 ハンドベルで世界に発信、市民が奏でる天使のメロディ
- 4-2 心豊かで、活気のある文化都市小山の推進
- 4-3 関東一を誇る小山の花火や多くのイベント

映画のまち
を追加

5. 男女共同参画のまち

- 5-1 女性も活躍し、男女が共に生きる「市民力」のまち

6. ボランティアのまち

- 6-1 「ボランティア」の力で地域を育てる、協働のまち

7. スポーツ・健康のまち

- 7-1 スポーツで市民の健康づくり「スポーツ立市」
- 7-2 市民みんなで健康づくり「健康都市おやま」
- 7-3 シニア元気あっぷ塾

4-3. 個別事業

以下は、関係各課の事業の具体的内容であり、「重点的な取り組み項目」を中項目として基本方針を定め、各個別事業の中に「具体的取り組み項目（小項目）」を「短・中・長期実施方針」とともに整理しました。

△：調査・検討 ○：施行・実施 ◎：改善・見直し ●：展開

1 農畜産物・本場結城紬をはじめとする伝統工芸のまち

1-1 既存ブランド選定品の拡充・展開

- 「おやま和牛」「おとん」の各種商品展開(★新規)
- 酒蔵との協働による地元の酒の普及促進
- うどんのまちの創生と推進(☆新規取り組み項目あり)
- おやま和菓子・スイーツの創作と発信(★新規)

1-2 新しい産品や利用法の開発

- 小山いちごのブランド展開
- 地元食材を使った料理などのイベント展開(☆新規取り組み項目あり)
- 地域の産品や新たな調理法による健康メニューの提案
- 農産物及び加工品のブランド化の積極的推進
- はとむぎ茶などの健康づくりにつながる新製品づくり
- 桑を活用したまちづくりの展開(★新規)
- 農福連携の推進(★新規)

1-3 本場結城紬をはじめとする歴史ある伝統工芸品

- ユネスコ無形文化遺産「本場結城紬」の復興振興
- 歴史に育まれた各種工芸品のブランド展開

△：調査・検討 ○：施行・実施 ◎：改善・見直し ●：展開

1-1 既存ブランド選定品の拡充・展開

■「おやま和牛」「おとん」の各種商品展開（新規）

具体的取り組み項目【小項目】	短期			中期	長期	担当課
	2019	2020	2021	～23	24～	
「おやま和牛」「おとん」の各種商品展開	○	→	→	→	→	農政課
<p>□第3期計画における方針</p> <p>「おやま和牛」「おとん」は市場で高い評価を得ているところであり、肉汁グランプリ等の各種イベントでPRを行い、さらなる認知度の向上を図る。また、生産者、生産者団体、取扱精肉店、飲食店等が一体となり、商品開発及び販売拡大を進めていく。特に、「おとん」の加工、レストラン等でのメニュー化を進める。</p>						

■酒蔵との協働による地元の酒の普及促進

具体的取り組み項目【小項目】	短期			中期	長期	担当課
	2019	2020	2021	～23	24～	
地酒統一ブランド「小山評定」の継続	○	→	→	◎	●	商業観光課 農政課
<p>□第3期計画における方針</p> <p>小山の歴史ブランド天下分け目の軍議「小山評定」を冠して、市内酒蔵4社がそれぞれ味を競う地酒統一ブランド「小山評定」の継続・発展は、「開運のまち おやま」の全国的知名度向上のため効果的であり、生産酒蔵との連絡体制を強化して、品質維持、原料確保、販路拡大等必要とする支援、協力を行う。</p>						

具体的取り組み項目【小項目】	短期			中期	長期	担当課
	2019	2020	2021	～23	24～	
酒蔵との協働による地元の酒の普及促進	△	○	△	○	◎	商業観光課
<p>□第3期計画における方針</p> <p>「おやまの地元の酒の普及促進に関する条例」の市民や企業への周知に努め、地元の酒による乾杯等の取組みの普及促進を図る。新たなファンを増やす機会である「おやま酒蔵まつり」隔年(次回は2020)で開催していく。</p>						

△：調査・検討 ○：施行・実施 ◎：改善・見直し ●：展開

■うどんのまちの創生と推進

具体的取り組み項目【小項目】	短期			中期	長期	担当課
	2019	2020	2021	～23	24～	
うどんのまちの創生と推進(新規)	○	→	→	◎	●	商業観光課
<p>□第3期計画における方針</p> <p>開運小山うどんの更なる普及・浸透を目指し、開運おやまうどん会加盟店及び開運小山うどん会応援隊会員を増やし、組織強化を図る。また、開運小山うどんまつりの開催、市内外のイベントへの出店、うどん打ち講習会を実施しながら、新商品開発・販路拡大への支援を行う。</p>						

■おやま和菓子・スイーツの創作と発信(新規)

具体的取り組み項目【小項目】	短期			中期	長期	担当課
	2019	2020	2021	～23	24～	
おやま和菓子・スイーツの創作と発信(新規)	○	→	→	◎	●	商業観光課
<p>□第3期計画における方針</p> <p>市内の和菓子店・洋菓子店に、小山の食材を原料として使用することをテーマにした小山らしい和菓子・スイーツを創作してもらい、「おやま和菓子・スイーツ」として、PRするイベント(仮称)スイーツフェスタを開催して市内外に発信を図る。</p>						

1-2 新しい産品や利用法の開発

■小山いちごのブランド展開

具体的取り組み項目【小項目】	短期			中期	長期	担当課
	2019	2020	2021	～23	24～	
小山いちごのブランド展開	○	→	→	→	→	農政課
<p>□第3期計画における方針</p> <p>生産者、生産者団体、県、飲食店等と連携し、各種イベント等にて市内外にPRを行い、認知度の向上、及び消費拡大を図る。また、6次産業やアグリビジネス創出事業を活用し、新商品の開発を推進していく。</p>						

「おやまブランド」創生・発信推進計画

△：調査・検討 ○：施行・実施 ◎：改善・見直し ●：展開

■地元食材を使った料理などのイベント展開

具体的取り組み項目【小項目】	短期			中期	長期	担当課
	2019	2020	2021	～23	24～	
グルメイベントの開催(新規)	◎	○	→	△	●	商業観光課
<p>□第3期計画における方針</p> <p>「うまいもの小山評定」「開運小山うどんまつり」を同時開催とすることにより、幅広いグルメを堪能できる食の祭典とする他、ラーメン、肉などすでに開催されているグルメイベントの他にもグルメをテーマとする集客力のあるイベントを誘致する。イベントで街中に賑わいをもたらすとともに、小山の農畜産物を使用したメニューを提供してもらうことで、小山の農畜産物の美味しさをPRする。</p>						

■地域の産品や新たな調理法による健康メニューの提案

具体的取り組み項目【小項目】	短期			中期	長期	担当課
	2019	2020	2021	～23	24～	
地域の産品や新たな調理法や組み合わせによる健康メニューの提案	○	→	→	→	→	農政課 健康増進課
<p>□第3期計画における方針</p> <p>小山の食材を使用した新たな料理、健康メニューを市民に広く普及していくため、料理教室等で多くの受賞作品レシピを取り入れ、広報や市HPにもレシピを掲載していく。また、外食産業や企業からの協力を得て官民共同で推進していく。</p>						

■農産物及び加工品のブランド化の積極的推進

具体的取り組み項目【小項目】	短期			中期	長期	担当課
	2019	2020	2021	～23	24～	
農産物及び加工品のブランド化の積極的推進	○	→	→	→	→	農政課
<p>□第3期計画における方針</p> <p>6次産業やアグリビジネス創出事業の補助金を活用して加工品を創出するとともに、農協等と連携しながらブランド化を積極的に推進するとともに、販路開拓についても積極的に推進していく。</p>						

4章 ブランド展開方策（第3期）

△：調査・検討 ○：施行・実施 ◎：改善・見直し ●：展開

■はとむぎ茶などの健康づくりにつながる新製品づくり

具体的取り組み項目【小項目】	短期			中期	長期	担当課
	2019	2020	2021	～23	24～	
はとむぎ茶などの健康づくりにつながる新製品づくり	○	→	→	→	→	農政課 健康増進課
<p>□第3期計画における方針</p> <p>はとむぎについては、「健康長寿 はとむぎ100歳を目指すプロジェクト」等にて、生産・加工・販売・啓発が一体となり、周知、新商品の開発、並びに生産・消費の拡大を推進する。</p> <p>また、小山産なたね油については、菜種の生産から搾油、販売、廃食用油のBDF化まで事業を展開し、地産地消、及び循環型社会の実現を推進する。</p>						

■桑を活用したまちづくりの展開(新規)

具体的取り組み項目【小項目】	短期			中期	長期	担当課
	2019	2020	2021	～23	24～	
桑の実、桑の葉を活用した商品の普及(新規)	○	→	→	◎	●	農政課 商業観光課
<p>□第3期計画における方針</p> <p>減少している桑畑を植栽することで再生し、地域資源となる桑の葉や桑の実を確保しながら、商品開発及び普及に取り組んでいく。</p>						

■農福連携の推進(新規)

具体的取り組み項目【小項目】	短期			中期	長期	担当課
	2019	2020	2021	～23	24～	
農福連携による障がい者の工賃向上、高齢者の生きがいづくり、耕作放棄地の解消(新規)	△	○	→	◎	●	福祉課 農政課
<p>□第3期計画における方針</p> <p>農業分野と福祉分野の双方が連携することで、耕作放棄地の解消、農家の担い手不足等の「農業の課題」と障がい者や元気な高齢者の就労の場の確保と工賃アップ等の「福祉の課題」を解消するため、農福連携製品のブランド化を推進していく。</p>						

△：調査・検討 ○：施行・実施 ◎：改善・見直し ●：展開

1-3 本場結城紬をはじめとする歴史ある伝統工芸品

■ユネスコ無形文化遺産「本場結城紬」の復興振興

具体的取り組み項目【小項目】	短期			中期	長期	担当課
	2019	2020	2021	～23	24～	
ユネスコ無形文化遺産「本場結城紬」の復興振興	○	→	→	◎	●	工業振興課
<p>□第3期計画における方針</p> <p>「第2期小山市本場結城紬復興振興5カ年計画」に基づき、6つの取組の柱に対応したアクションプランについて、重点プランを中心に取り組み、本場結城紬の復興振興に努める。</p>						

■歴史に育まれた各種工芸品のブランド展開

具体的取り組み項目【小項目】	短期			中期	長期	担当課
	2019	2020	2021	～23	24～	
歴史に育まれた各種工芸品のブランド展開	○	→	→	◎	●	商業観光課 工業振興課
<p>□第3期計画における方針</p> <p>本場結城紬ブランド展開として、小山産繭を使用し、本市の自然や歴史等をテーマとした小山市独自の本場結城紬製作についてPRするとともに、小山市独自の本場結城紬のブランド展開について検討する。小山市の伝統工芸品の匠の技、商品としての素晴らしさを市内外に普及啓発し、ブランド展開を図る。</p>						

△：調査・検討 ○：施行・実施 ◎：改善・見直し ●：展開

2 歴史・開運のまち

2-1 「開運のまち」をキーワードとした歴史ブランド展開

- 開運ゆかりの地、散策コース設定と案内・解説整備
- 「開運のまち」を全国へ発信するイベントの開催
- 中世小山一族の探究・普及

2-2 地域の歴史の発見・掘り起こし

- 祇園城跡地の再生整備（☆新規取り組み項目あり）
- 古墳・史跡などの整備
- 小山藩最後の藩主本多正純公の探求・普及（★新規）
- 「間々田のじゃがまいた」、「花桶かつぎ」の展開（★新規）

2-1 「開運のまち」をキーワードとした歴史ブランド展開

■開運ゆかりの地、散策コース設定と案内・解説整備

具体的取り組み項目【小項目】	短期			中期	長期	担当課
	2019	2020	2021	～23	24～	
開運ゆかりの地、散策コース設定と案内・解説整備	△	→	○	●	◎	生涯学習課
<input type="checkbox"/> 第3期計画における方針 小山市の貴重な文化遺産を資源とし、歴史の流れを体感できるよう、継続して市内史跡の散策コース設定や案内・解説整備の検討を進める。地域に残された歴史的事実を調査・整理することにより、郷土の誇りある文化財のブランド化を検討する。						

■「開運のまち」を全国へ発信するイベントの開催

具体的取り組み項目【小項目】	短期			中期	長期	担当課
	2019	2020	2021	～23	24～	
「開運のまち」を全国へ発信するイベントの開催	○	→	→	◎	→	文化振興課 商業観光課
<input type="checkbox"/> 第3期計画における方針 「開運のまちおやま」のブランドを広くPRするため、「おやま開運まつり」、「小山評定講演会・観劇会」等のイベントを継続して開催する。						

△：調査・検討 ○：施行・実施 ◎：改善・見直し ●：展開

■中世小山一族の探究・普及

具体的取り組み項目【小項目】	短期			中期	長期	担当課
	2019	2020	2021	～23	24～	
中世小山一族の探究・普及	○	→	→	◎	→	文化振興課
<p>□第3期計画における方針</p> <p>本市の礎を築いたとも言えるべき中世関東の名族・小山一族の探究を推進する。講演会やパンフレットなどにより、普及を図る。また、小山義政公奉納の太刀のレプリカ完成に伴う舞を制作し上演していくことで、同レプリカとともに小山氏の一層の周知を図る。</p>						

2-2 地域の歴史の発見・掘り起こし

■祇園城跡地の再生整備

具体的取り組み項目【小項目】	短期			中期	長期	担当課
	2019	2020	2021	～23	24～	
小山御殿広場の保存と活用(新規)	○	→	→	◎	→	文化振興課
<p>□第3期計画における方針</p> <p>史跡である小山御殿広場を適切に管理し保全する。また、小山の歴史を追体験できる場とするとともに、中心市街地活性化のため多様なニーズに対応し活用を図る。</p>						

■古墳・史跡などの整備

具体的取り組み項目【小項目】	短期			中期	長期	担当課
	2019	2020	2021	～23	24～	
古墳・史跡などの整備	○	→	→	→	→	生涯学習課
<p>□第3期計画における方針</p> <p>国史跡摩利支天塚・琵琶塚古墳資料館を拠点として、地域のさらなる活性化・観光地化のため、摩利支天塚古墳の発掘調査、琵琶塚古墳の整備実施設計及び整備工事等を進める。また、ボランティアや地域の団体等と連携し、両古墳および資料館の活用を図り、内外へ情報を発信する。</p>						

4章 ブランド展開方策（第3期）

△：調査・検討 ○：施行・実施 ◎：改善・見直し ●：展開

■ 小山藩最後の藩主本多正純公の探求・普及（新規）

具体的取り組み項目【小項目】	短期			中期	長期	担当課
	2019	2020	2021	～23	24～	
小山藩最後の藩主本多正純公の探求・普及（新規）	○	→	→	◎	→	文化振興課
<p>□第3期計画における方針</p> <p>徳川家康公の側近として仕え、1608年から1619年まで小山藩主として封じられた本多正純公を探究し広く周知する事業に取り組み、歴史のまちづくりを推進する。</p>						

■ 「間々田のじゃがまいた」、「花桶かつぎ」の展開（新規）

具体的取り組み項目【小項目】	短期			中期	長期	担当課
	2019	2020	2021	～23	24～	
「間々田のじゃがまいた」、「花桶かつぎ」の展開（新規）	△	→	○	→	◎	生涯学習課
<p>□第3期計画における方針</p> <p>国指定の重要無形民俗文化財となった「間々田のじゃがまいた」について、保護団体が主体となっている現在の運営体制を保ちながら、市が団体に協力し、「間々田のじゃがまいた」のブランド力を高め、地域の活性化を図る。市指定無形民俗文化財「花桶かつぎ」については、調査等を実施し文化財的価値を明らかにして、ブランド力を高めるとともにPRを図っていく。小山市の文化の全国発信に努める。</p>						

△：調査・検討 ○：施行・実施 ◎：改善・見直し ●：展開

3 思川・思川桜・渡良瀬遊水地のまち

3-1 母なる川「思川」の活用

- 思川の景観整備の推進
- 思川堤サイクリングロードの整備
- 清流思川の表象のブランド化
- 「思川温泉」のさらなる活用

3-2 「思川桜」でまちを彩る

- 植樹が進む「思川桜」のさらなる展開・拡充
- イベントの拡充とPR

3-3 渡良瀬遊水地の賢明な活用の3本柱

- 治水機能確保を最優先とした「エコミュージアム化」
(☆新規取り組み項目あり)
- 環境に優しい農業を中心とした地場産業の推進 (☆新規取り組み項目あり)
- コウノトリ・トキの野生復帰 (☆新規取り組み項目あり)

3-1 母なる川「思川」の活用

■ 思川の景観整備の推進

具体的取り組み項目【小項目】	短期			中期	長期	担当課
	2019	2020	2021	～23	24～	
思川の景観整備の推進	◎	○	→	→	→	都市計画課 水と緑の推進課

□ 第3期計画における方針

市の中心部に位置する立地条件の良さからも、都心部の重要なアメニティ空間として市街地との連携を密にし、市民の「生活風景の一部」とするべく取り組みを進めていく。
また、思川豊田緑地の整備を推進する。

4章 ブランド展開方策（第3期）

△：調査・検討 ○：施行・実施 ◎：改善・見直し ●：展開

■ 思川堤サイクリングロードの整備

具体的取り組み項目【小項目】	短期			中期	長期	担当課
	2019	2020	2021	～23	24～	
思川堤サイクリングロードの整備	○	→	→	◎	→	建設政策課
<p>□第3期計画における方針</p> <p>サイクリストの利用環境を向上させ、地域の魅力や観光資源を発信するとともに、自転車ネットワークの柱となる、市のシンボル「思川」に沿ったサイクリングロードの整備を推進する。</p> <p>堤防上の管理用道路を兼ねた形の道路として、早期整備の推進を県に対して要望していく。</p>						

■ 清流思川の表象のブランド化

具体的取り組み項目【小項目】	短期			中期	長期	担当課
	2019	2020	2021	～23	24～	
清流思川の表象のブランド化「おやま思川アユまつり」の実施	◎	●	→	→	→	都市計画課 水と緑の推進課
<p>□第3期計画における方針</p> <p>「おやま思川アユまつり」は実行委員会を中心とした形で、地元関係団体と行政が協力し開催・運営している。夏のイベントとして定着しており、更なる地元関係者のまつり参加を積極的に進めたい。</p> <p>また、ボランティア団体により清流思川の魅力を発信していく。</p>						

■ 「思川温泉」のさらなる活用

具体的取り組み項目【小項目】	短期			中期	長期	担当課
	2019	2020	2021	～23	24～	
「思川温泉」のさらなる活用	○	→	→	◎	→	商業観光課
<p>□第3期計画における方針</p> <p>引き続き市内最大のショッピングモールである「ハーヴェストウォーク」と一体となり、新たな誘客を図るとともに、日帰り温泉の他に市内唯一の宿泊の出来る温泉施設として活用を推進していく。</p>						

3-2 「思川桜」でまちを彩る

■植樹が進む「思川桜」のさらなる展開・拡充

具体的取り組み項目【小項目】	短期			中期	長期	担当課
	2019	2020	2021	～23	24～	
植樹が進む「思川桜」のさらなる展開・拡充	○	→	→	→	◎	道路課
<input type="checkbox"/> 第3期計画における方針 「桜の里親制度」による思川桜の植栽については二千本を達成し、さらなる展開及び継続化を推進する。 また、今後の維持管理等を含めて検討していく。						

■イベントの拡充とPR

具体的取り組み項目【小項目】	短期			中期	長期	担当課
	2019	2020	2021	～23	24～	
イベントの拡充とPR	○	→	→	◎	→	道路課 商業観光課
<input type="checkbox"/> 第3期計画における方針 昭和29年に市内で発見された「オモイガワザクラ」は、「桜の里親制度」による植樹も進んでいる。 植樹本数2000本を超え壮大となった思川桜堤を観光の名所としてPRし、また、イベントを開催するなど市内外から誘客を図る。						

3-3 渡良瀬遊水地の賢明な活用の3本柱

■治水機能確保を最優先とした「エコミュージアム化」

具体的取り組み項目【小項目】	短期			中期	長期	担当課
	2019	2020	2021	～23	24～	
渡良瀬遊水地第2調整池のエコミュージアム化に伴う整備の推進(新規)	◎	○	→	→	→	建設政策課
<input type="checkbox"/> 第3期計画における方針 平成27年3月に「渡良瀬遊水地第2調節池エコミュージアム基本計画」を策定し、整備を進めているが、平成30年度に、国の掘削に係る「渡良瀬遊水地湿地保全・再生基本計画」が改訂されることから、「エコミュージアム基本計画」についても、2020年度からの後期5箇年の取組みを見直し、渡良瀬遊水地「賢明な活用」3本柱の取組みとの連携を強化して整備を推進する。						

4章 ブランド展開方策（第3期）

△：調査・検討 ○：施行・実施 ◎：改善・見直し ●：展開

■環境に優しい農業を中心とした地場産業の推進

具体的取り組み項目【小項目】	短期			中期	長期	担当課
	2019	2020	2021	～23	24～	
ふゆみずたんぼ、なつみずたんぼ、生井っ子、ラムサールホンモロコ、ラムサールナマズの普及促進(新規)	○	→	→	◎	●	農政課
<p>□第3期計画における方針</p> <p>本取組がラムサール条約登録湿地 渡良瀬遊水地の賢明な活用3本柱「環境にやさしい農業を中心とした地場産業の推進」に関連した取組であること、渡良瀬遊水地にコウノトリを呼び込んでいることをPRし、市内外の方に理解と協力を得ながら、取組農家数・生産量・販売量の拡大を図っていく。</p>						

■コウノトリ・トキの野生復帰

具体的取り組み項目【小項目】	短期			中期	長期	担当課
	2019	2020	2021	～23	24～	
コウノトリの定住・営巣環境の充実(新規)	○	→	→	◎	●	渡良瀬遊水地 ラムサール推進課
<p>□第3期計画における方針</p> <p>ふゆみずたんぼやなつみずたんぼの活用及び湿地保全活動をとおした採餌環境整備の充実を図り、コウノトリの定住・営巣を目指す。あわせて、コウノトリが長期滞在する「環境都市小山」を市内外に発信するとともに、コウノトリに関する情報、見守りのマナー等の普及・啓発を行う。</p>						

△：調査・検討 ○：施行・実施 ◎：改善・見直し ●：展開

4 ハンドベル・映画・花火の市民文化のまち

- 4-1 ハンドベルで世界に発信、市民が奏でる天使のメロディ
 - 「ハンドベルのまちおやま」を全国へ発信
- 4-2 心豊かで、活気のある文化都市小山の推進
 - 歴史や伝統に基づく小山らしさのあふれた文化芸術の継承
 - おもいがわ映画祭の開催(★新規)
 - 料理人の聖地化促進事業(★新規)
- 4-3 関東一を誇る小山の花火や多くのイベント
 - おやまサマーフェスティバルのさらなる発展

4-1 ハンドベルで世界に発信、市民が奏でる天使のメロディ

■「ハンドベルのまちおやま」を全国へ発信

具体的取り組み項目【小項目】	短期			中期	長期	担当課
	2019	2020	2021	~23	24~	
「ハンドベルのまちおやま」を全国へ発信	○	→	→	◎	●	文化振興課
<input type="checkbox"/> 第3期計画における方針 ハンドベルの素晴らしい音色の響くまちづくりを推進するため、ハンドベルフェスタ in OYAMAを継続して開催することにより、ハンドベル音楽の普及並びに地域における文化活動の活性化を図る。						

4-2 心豊かで、活気のある文化都市小山の推進

■歴史や伝統に基づく小山らしさのあふれた文化芸術の継承

具体的取り組み項目【小項目】	短期			中期	長期	担当課
	2019	2020	2021	~23	24~	
市民能「小山安犬」・市民オペラ「小山物語」の再演	○	→	→	→	○	文化振興課
<input type="checkbox"/> 第3期計画における方針 先人から受け継がれた貴重な歴史や伝統に基づく小山らしさのあふれた文化芸術を、伝え継承していく。						

4章 ブランド展開方策（第3期）

△：調査・検討 ○：施行・実施 ◎：改善・見直し ●：展開

■おもいがわ映画祭の開催（新規）

具体的取り組み項目【小項目】	短期			中期	長期	担当課
	2019	2020	2021	～23	24～	
おもいがわ映画祭の開催（新規）	○	→	→	◎	→	商業観光課

□第3期計画における方針

「シネマハーヴェストウォーク」と「シネマロブレ5」の計13のスクリーンが市内に存在する恵まれた映画環境、文化的資源を活用し、市内外から多くの人を呼び込み、心に残る名作を鑑賞していただくことで、「開運のまちおやま」を全国発信する。また「小山きものの日」との同時開催により誘客の相乗効果も図っていく。

■料理人の聖地化促進事業（新規）

具体的取り組み項目【小項目】	短期			中期	長期	担当課
	2019	2020	2021	～23	24～	
料理人の聖地化に向けた取り組み（新規）	○	→	→	◎	●	農政課

□第3期計画における方針

料理の祖神（おやがみ）「イフカムツカリミコト磐鹿六雁命」を主祭神とする延喜式内社で全国の調理師から崇拝されている「高椅神社」において、「日本 和食（日本料理）サミット」を開催することにより郷土意識の醸成を図り、料理人の聖地化に向けた事業を展開する。この高椅神社の近隣にキッチンスタジオを整備し、著名な料理人を招き、全国から料理の腕前を上げたいと願う料理人や外国人等の調理師が参加できる和食講習会を開催するなど、日本の和食文化を全国・世界に発信する。

4-3 関東一を誇る小山の花火や多くのイベント

■おやまサマーフェスティバルのさらなる発展

具体的取り組み項目【小項目】	短期			中期	長期	担当課
	2019	2020	2021	～23	24～	
おやまサマーフェスティバルのさらなる発展	○	→	→	◎	→	商業観光課

□第3期計画における方針

東京駅から新幹線で42分のJR小山駅から徒歩10分の恵まれた立地条件を活かし、より多くの集客を目指すと共に、前夜祭の「オープニングカーニバル」を含めて、より魅力あるコンテンツで集客を図り、市をあげた一大イベントである「おやまサマーフェスティバル」のさらなる発展を目指す。

△：調査・検討 ○：施行・実施 ◎：改善・見直し ●：展開

5 男女共同参画のまち

- 5-1 女性も活躍し、男女が共に生きる「市民力」のまち
- 女性の政策・方針決定過程への参画
 - ワーク・ライフ・バランスの推進(★新規)
 - おやマイクボス評定(★新規)

5-1 女性も活躍し、男女が共に生きる「市民力」のまち

■女性の政策・方針決定過程への参画

具体的取り組み項目【小項目】	短期			中期	長期	担当課
	2019	2020	2021	~23	24~	
各種審議会等委員に占める女性の割合拡大	○	◎	○	→	◎	男女共同参画課
<input type="checkbox"/> 第3期計画における方針 女性の社会参画を促進するためには、政策・方針決定の場に女性が参画し意見が反映されることが必要である。そのため、今後も登用率 40%未満の審議会等への女性登用を要請していくとともに、女性委員の参画がない審議会等の解消を図る。						

■ワーク・ライフ・バランスの推進(新規)

具体的取り組み項目【小項目】	短期			中期	長期	担当課
	2019	2020	2021	~23	24~	
ワーク・ライフ・バランス推進事業者認定事業の拡充(新規)	○	◎	○	→	◎	男女共同参画課
<input type="checkbox"/> 第3期計画における方針 仕事と家庭生活を両立することができ、男女ともに働きやすい職場環境づくりに積極的に取り組んでいる事業者を「小山市ワーク・ライフ・バランス推進事業者」として認定し、雇用の分野における男女共同参画の推進を図る。						

4章 ブランド展開方策（第3期）

△：調査・検討 ○：施行・実施 ◎：改善・見直し ●：展開

■おやまイクボス評価（新規）

具体的取り組み項目【小項目】	短期			中期	長期	担当課
	2019	2020	2021	～23	24～	
おやまイクボス評価の開催と賛同事業所の拡充 （新規）	○	→	→	→	●	男女共同参画課
<input type="checkbox"/> 第3期計画における方針 「おやまイクボス合同宣言」をした市と市内事業所で、協議会（おやまイクボス評価）を開催し、交流や情報交換を行う。さらに「イクボス」の趣旨に賛同する事業所を登録制とし、おやまイクボス評価会員を増やしていくことで、イクボスの輪を広げ働きやすい小山市の実現を目指す。						

△：調査・検討 ○：施行・実施 ◎：改善・見直し ●：展開

6 ボランティアのまち

- 6-1 「ボランティアの力」で地域を育てる、協働のまち
- ボランティアの充実による市民協働のまちづくり
 - ボランティア活動による、地域の支え合いと活性化(★新規)
 - 団塊の世代の力と新しい発想による地域リーダーの育成

6-1 「ボランティアの力」で地域を育てる、協働のまち

■ ボランティアの充実による市民協働のまちづくり

具体的取り組み項目【小項目】	短期			中期	長期	担当課
	2019	2020	2021	~23	24~	
ボランティアの充実による市民協働のまちづくり	◎	○	→	◎	○	市民生活課
<input type="checkbox"/> 第3期計画における方針 多様化する市民活動に対応するため、市民活動センターの活動をさらに活性化させ、ボランティアを始めとする市民活動についての情報の収集と発信を積極的に実施し、コーディネートを的確に行っていくことにより、市民協働のまちづくりの推進を図る。						

■ ボランティア活動による、地域の支え合いと活性化(新規)

具体的取り組み項目【小項目】	短期			中期	長期	担当課
	2019	2020	2021	~23	24~	
自治会を中心とした地域の見守りと支え合いの推進、ボランティア活動による地域活性化(新規)	○	→	→	◎	○	市民生活課 地域包括ケア 推進課
<input type="checkbox"/> 第3期計画における方針 自治会を中心とした地域の見守りや生活支援などの仕組みづくりを構築するほか、小山市市民活動推進事業補助金の周知に努め、より多くの団体が利用することにより、ボランティア活動を通じた地域の活性化を図る。						

4章 ブランド展開方策（第3期）

△：調査・検討 ○：施行・実施 ◎：改善・見直し ●：展開

■ 団塊の世代の力と新しい発想による地域リーダーの育成

具体的取り組み項目【小項目】	短期			中期	長期	担当課
	2019	2020	2021	～23	24～	
団塊の世代の力と新しい発想による地域リーダーの育成	◎	○	→	◎	○	市民生活課
<input type="checkbox"/> 第3期計画における方針 若い世代による市民活動への参加を充実させるために各種入門講座やイベントを実施するとともに、各団体の支援や団体交流会等、小山市の全体的な市民活動に触れる機会を設け、地域の市民活動のリーダーの育成を図る。						

△：調査・検討 ○：施行・実施 ◎：改善・見直し ●：展開

7 スポーツ・健康のまち

7-1 スポーツで市民の健康づくり「スポーツ立市」

- 全国レベルのスポーツマン育成・支援
- スポーツツーリズムの推進(★新規)
- 市民一人1スポーツで健康市民都市実現
- 市民スポーツ・レクリエーション（障がい者スポーツを含む）
の充実(★新規)
- 野球の聖地小山のアピール(★新規)

7-2 市民みんなで健康づくり「健康都市おやま」

- 小山市民元気あっぷ体操の普及・促進
- 健康づくりのためのウォーキング普及の取り組み
- はとむぎの活用による、健康長寿のまちづくりの推進（新規）
- 思桜会育成事業推進による高齢者のためのスポーツの普及
- 介護予防体操教室の普及
- 高齢者生きがいボランティアコーディネーターの育成

7-3 シニア元気あっぷ塾

- シニア元気あっぷ塾の展開による、元気な高齢者づくりの推進

7-1 スポーツで市民の健康づくり「スポーツ立市」

■全国レベルのスポーツマン育成・支援

具体的取り組み項目【小項目】	短期			中期	長期	担当課
	2019	2020	2021	～23	24～	
トップレベルの選手の育成・支援（障がい者スポーツを含む）	○	→	→	●	◎	生涯スポーツ課
<p>□第3期計画における方針</p> <p>特に 2022 年には栃木県において国民体育大会が行われることから、一人でも多くの選手が出場できるよう、学校スポーツ団体等と連携しながら、きめ細かなトップアスリートの育成支援に努める。</p> <p>【重点的取り組み】国民体育大会やオリンピックを見据えた、未来のトップアスリートに対する支援</p> <p>【数値目標】スポーツ大会出場祝金の交付数</p> <p>現状値（2018）：185件 → 目標値（2023）：230件</p>						

4章 ブランド展開方策（第3期）

△：調査・検討 ○：施行・実施 ◎：改善・見直し ●：展開

■スポーツツーリズムの推進（新規）

具体的取り組み項目【小項目】	短期			中期	長期	担当課
	2019	2020	2021	～23	24～	
スポーツ合宿・キャンプの誘致（新規）	△	○	→	●	◎	生涯スポーツ課
<p>□第3期計画における方針</p> <p>東京オリンピック・パラリンピックや栃木国体の開催を見据えつつ、本市のスポーツ施設や開運スポーツ合宿所等の宿泊施設を活用して、スポーツ合宿・キャンプ等の積極的な誘致を検討します。</p> <p>【重点的取り組み】スポーツを通じた交流人口拡大</p> <p>【数値目標】開運スポーツ合宿所の利用者数（延べ人数）</p> <p>現状値（2019）：900人 → 目標値（2023）：2000人</p>						

■市民一人1スポーツで健康市民都市実現

具体的取り組み項目【小項目】	短期			中期	長期	担当課
	2019	2020	2021	～23	24～	
スポーツプログラムの開発とスポーツ環境の整備	○	→	→	●	◎	生涯スポーツ課
<p>□第3期計画における方針</p> <p>誰もが気軽に参加できるスポーツ活動を促進し、スポーツに関心のない市民がスポーツを楽しむきっかけを作るため、各種スポーツイベントを開催するとともに、内容の充実を図る。</p> <p>【重点的取り組み】既存事業の更なる充実及び新たなスポーツ機会の創出</p> <p>【数値目標】スポーツイベントの参加者数（延べ人数）</p> <p>現状値（2018）：16,000人 → 目標値（2023）：20,000人</p>						

■市民スポーツ・レクリエーション（障がい者スポーツを含む）の充実（新規）

具体的取り組み項目【小項目】	短期			中期	長期	担当課
	2019	2020	2021	～23	24～	
市民スポーツ・レクリエーション（障がい者スポーツを含む）の充実（新規）	△	○	→	●	◎	生涯スポーツ課
<p>□第3期計画における方針</p> <p>障がい者と健常者が交流し、相互の理解を深めるため、障がい者スポーツを体験するイベントや教室等の開催により、障がい者と健常者がともにスポーツに親しむ機会の創出に努める。</p> <p>【重点的取り組み】障がい者スポーツの普及・推進</p> <p>【数値目標】障がい者スポーツ事業の参加者数（延べ人数）</p> <p>現状値（2018）：300人 → 目標値（2023）：450人</p>						

△：調査・検討 ○：施行・実施 ◎：改善・見直し ●：展開

■野球の聖地小山のアピール(新規)

具体的取り組み項目【小項目】	短期			中期	長期	担当課
	2019	2020	2021	～23	24～	
栃木ゴールデンブレース、エイジェック社会人野球部・女子野球部の支援(新規)	△	○	→	◎	→	生涯スポーツ課
<p>□第3期計画における方針</p> <p>「野球の聖地 小山」を市内外にアピールし浸透させていく中で、小山市に本拠地を置く栃木県民球団栃木ゴールデンブレース、エイジェック社会人野球及びエイジェック社会人女子野球を様々な形でバックアップしていくことを中心に、「野球といえば小山、小山といえば野球」と言われるよう、事業を展開していく。具体策としてTGBとの地域支援パートナー協定締結、小山市民デーの開催、野球教室の開催、野球の日（毎年8月9日前後）における野球サミットの開催、社会人野球及び女子野球の各種大会での小山市をアピールする演出応援等を展開していく。</p>						

7-2 市民みんなで健康づくり「健康都市おやま」

■小山市民元気あっぷ体操の普及・促進

具体的取り組み項目【小項目】	短期			中期	長期	担当課
	2019	2020	2021	～23	24～	
小山市民元気あっぷ体操の普及・促進	○	→	→	◎	○	健康増進課
<p>□第3期計画における方針</p> <p>市民ボランティアの協力による各種イベントでの体操実技、テレビ小山での放送、DVDの販売を通して、元気あっぷ体操を各世代に広めていくとともに、2022年にはキッズ版制作を通して子どもへの普及にも努めていく。</p>						

■健康づくりのためのウォーキング普及の取り組み

具体的取り組み項目【小項目】	短期			中期	長期	担当課
	2019	2020	2021	～23	24～	
健康づくりのためのウォーキング普及の取り組み	○	→	◎	○	→	健康増進課
<p>□第3期計画における方針</p> <p>市内各地域の名所や旧跡に触れながら、市民の方が気軽に健康づくりのためのウォーキングを実践できるよう「おやまのまち de 開運ウォーキング」を継続し、正しいウォーキング指導等を実施していく。</p>						

4章 ブランド展開方策（第3期）

△：調査・検討 ○：施行・実施 ◎：改善・見直し ●：展開

■はとむぎの活用による、健康長寿のまちづくりの推進（新規）

具体的取り組み項目【小項目】	短期			中期	長期	担当課
	2019	2020	2021	～23	24～	
はとむぎの活用による、健康長寿のまちづくりの推進（新規）	○	→	→	◎	→	健康増進課 農政課
<input type="checkbox"/> 第3期計画における方針（3行程度）／数値目標がある場合は記入 はとむぎで健康長寿 100 歳を目指すまちづくり推進協議会を核に、はとむぎの生産支援や、「はとむぎの新製品」の加工や調理への活用、販売を通じて健康長寿のまちづくりを推進し、実証研究により認められたはとむぎの良さを全国発信する方策を検討し、実施する。						

■思桜会育成事業推進による高齢者のためのスポーツの普及

具体的取り組み項目【小項目】	短期			中期	長期	担当課
	2019	2020	2021	～23	24～	
思桜会会員による、健康づくりのためのスポーツの普及	○	→	→	◎	→	地域包括ケア 推進課
<input type="checkbox"/> 第3期計画における方針 単位老人クラブ・各地区における輪投げやグラウンドゴルフの活動促進のほか、ニュースポーツなど他のスポーツについても単位老人クラブにおける活動状況を調査し、各地区等での大会の開催に結び付ける。						

■介護予防体操教室の普及

具体的取り組み項目【小項目】	短期			中期	長期	担当課
	2019	2020	2021	～23	24～	
介護予防体操教室の普及	○	→	◎	○	→	地域包括ケア 推進課
<input type="checkbox"/> 第3期計画における方針 「いきいき百歳体操」の普及啓発を図り、高齢者が身近な地域で継続的に実践できるよう自主グループの育成に努める。また「すこやか長寿プラン（介護保険事業計画）」に合わせて事業の評価と改善を行い、効果的な事業に繋げていく。						

△：調査・検討 ○：施行・実施 ◎：改善・見直し ●：展開

■高齢者生きがいボランティアコーディネーターの育成

具体的取り組み項目【小項目】	短期			中期	長期	担当課
	2019	2020	2021	～23	24～	
高齢者生きがいボランティアコーディネーターの育成	△	○	→	◎	→	地域包括ケア推進課
<p>□第3期計画における方針</p> <p>生き生き好齢者育成支援推進事業において相談窓口・WEBサイトの運営を行い、ボランティアに関する情報提供・マッチングの場を提供していく。生き生き好齢者アドバイザーによるボランティアコーディネートの動きが始まっていることから、セミナー等でボランティア体験や学習の場を提供する等の支援を行う。</p>						

7-3 シニア元気あっぷ塾

■シニア元気あっぷ塾の展開による、元気な高齢者づくりの推進

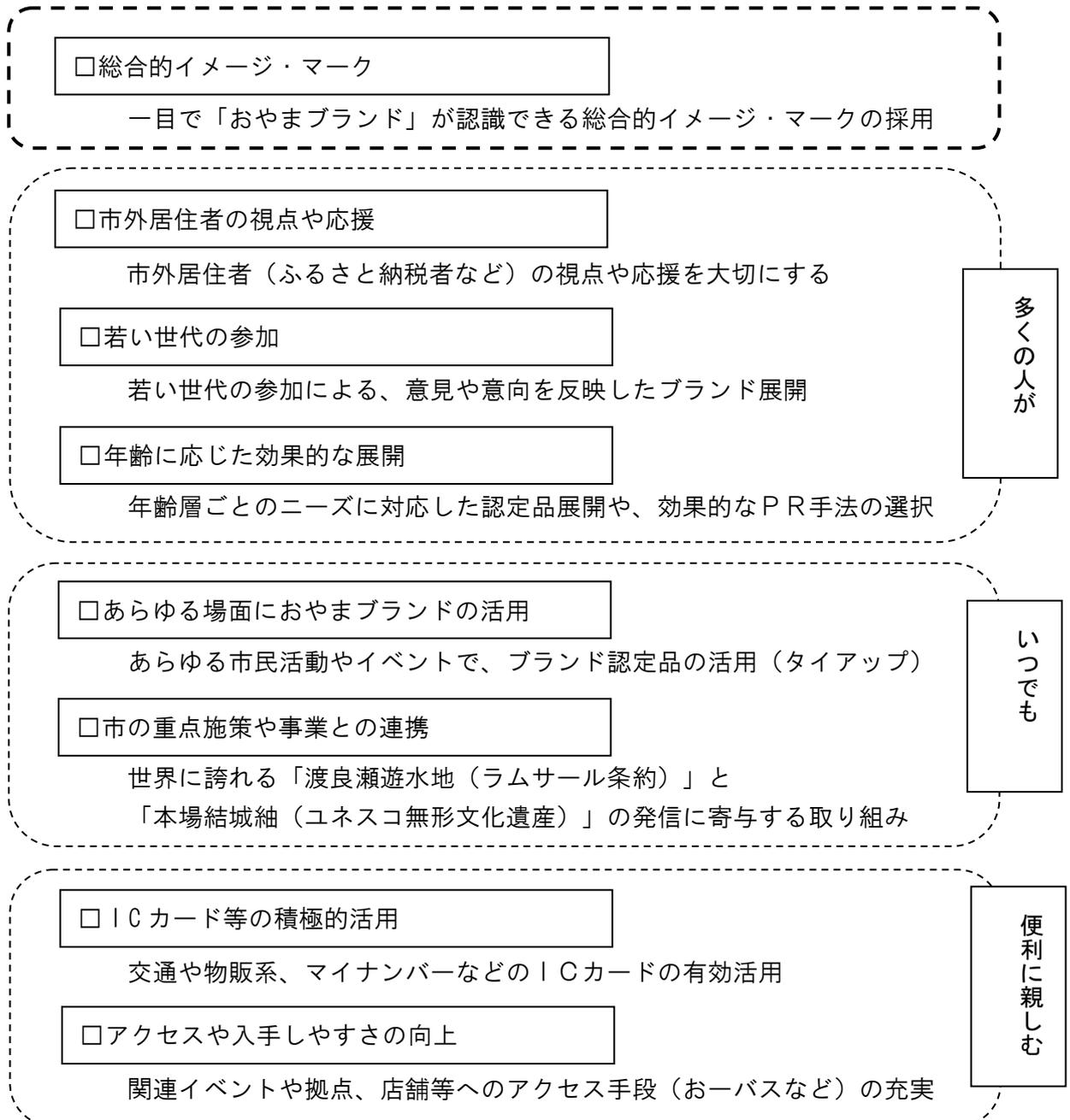
具体的取り組み項目【小項目】	短期			中期	長期	担当課
	2019	2020	2021	～23	24～	
シニア元気あっぷ塾の展開による、元気な高齢者づくりの推進	○	→	◎	○	→	地域包括ケア推進課
<p>□第3期計画における方針</p> <p>高齢者の筋力向上を目的としたトレーニング事業を市内全域で展開。市内10か所の会場に加え、より身近な地域で実践できるよう自治会等に出向く機会を増やす。</p>						

具体的取り組み項目【小項目】	短期			中期	長期	担当課
	2019	2020	2021	～23	24～	
サポーターの拡大	○	→	◎	○	→	地域包括ケア推進課
<p>□第3期計画における方針</p> <p>指導員・準指導員を養成する講座の充実を図り、事業を支えるサポーターの拡大に取り組む。また、サポーターの資質向上を目的に、指導方法に関する学習会等を実施していく。</p>						

4-4. おやまブランド展開と発信・PRの方策検討

おやまブランドのより一層の展開、および情報発信・PRを推進し、総合的に深化したブランドとするために必要な取り組み方策を以下の様に考えます。

【第3期計画策定にあたり、特に留意すべき視点】



1) 組織・体制の充実

【推進組織のさらなる強化拡充を図る】

様々な立場、考え方を持つ人々が協力して、おやまブランドの創生と発信を推進していくためには、協議会や幹事会における関係者の十分な意見交換のもとに、ブランド推進の計画をまとめていく必要があります。

また、7つの体系のもと、施策事業が計画され、それぞれ担当課により事業推進が図られることとなりますが、効果的に取り組みを進めるためには、庁内全体で一丸となり、おやまブランドの創生と発信に取り組んでいく意識が必要です。

- ブランド創生協議会を中心とした推進体制の充実
- 事業担当各課の連絡、協力体制の強化
- 全庁的なブランド意識の啓発

【具体的な実践部隊をつくる】

総合的な計画に従いブランド推進を進めていくために、中心的な組織の確立と役割分担がカギとなります。

プロジェクトを引っばる文字通りのリーダー、地道な事務管理能力や局面を分析し、方向修正のアドバイスを出す人、内部の人間では気がつかない、あるいは言いづらい課題や欠点をハッキリと指摘できる人、など。

これらの人材を、地域の内外から見出すとともに、継続的な活動のために次世代の人材も育てていきます。

特に、ブランド認知度のやや低い若い世代の周知を図り、ニーズを把握するために、若い世代がブランド推進の取り組みへ参加することが効果的です。

- ブランド認定事業者によるPR推進組織の強化
- 若い世代のブランド展開活動への参加の推進

2) 掘り起こしとブランド化

【目的と体系に沿ったブランドの資源を探し、創り、育てる】

まずは、既存の地域資源を整理するとともに、埋もれているもの、地域の人間が特別とは思っていないものなど、その他の隠れた「ブランドの種」を探します。

ブランドは希少価値のあるものが理想ですが、シンプルで素材が分かりやすいものが、アピールしやすいと考えられます。

それらを様々な視点で検証し、確かな認証制度を通じて新たな「おやまブランド」として送り出します。

- 市民による特産品の発掘・育成

3) 周知とPR

【広く認知され、愛されるブランド創生】

おやまブランドが広く認知されるために、その体系や具体的内容を分かり易く整理し、ホームページや広報等の様々な手段を通じた情報発信を継続していきます。

また、覚えやすいキーワード（例えば『開運』など）やフレーズなどを効果的に使用し、印象に残るPRを図ります。

- 総合的イメージ・マークの採用と活用
- メディアの活用によるブランド情報発信
- 特に若い世代の利用が多いインターネット関連の情報発信の強化
- プロモーションビデオの製作、インターネット公開
- 小山評定ふるさと大使の活用
- ドラマ撮影誘致の推進（フィルムコミッション）
- 月刊誌・週刊誌、地域情報誌など出版物の活用
- おやまブランドの魅力を伝えるガイドブックの作成

【市民参加と共有によるブランド創生】

おやまブランドは、市民が積極的に参加する市民のブランドであり、市民自らが育てたことにより、さらに市民の誇りと愛着心が大きく広がります。

おやまブランドの体系や特徴を整理したデータベースづくりや、ブランドに精通した「市民応援層」を育てることが、活気あるブランド展開を繋ぎます。

現在、小山市を応援するサポーターとして「小山評定ふるさと応援隊」、「おやま広報大使」「おやま広報特派員」がおりますが、こうした方々の協力を得て、ブランド推進の大きな力として結集していくことが必要です。

- 学校における地域文化やブランドの学習
- 学校給食への提供
- 「小山評定ふるさと応援隊」、「おやま広報大使」「おやま広報特派員」の活用
- 消費者モニター制度の導入

【市外居住者への発信】

昨今の「ふるさと納税」の人気の拡大にともない、小山市へ興味を持ち、ブランド認定品を手にする市外居住者が増えています。

この「ふるさと納税者」は、おやまブランドを広く発信していくうえで、非常に強力なサポーターとなりうると考えられ、これらの方々の意識や意向を把握するとともに、ブランド展開の協力を得ていくことが必要です。

- 「ふるさと納税者」の意識調査（計画見直しにあたり実施）
- 栃木県アンテナショップ「とちまるショップ」でのPRキャンペーンの実施
- 市外居住者の「おやまブランド」体験の実施
- 会議、イベントでの来訪者へおやまブランドによるふるまい、もてなし

4) 継続的展開と育成・販促

【利用者と一緒に育てるブランド認定品】

おやまブランドを大きく展開していくにあたっては、単なる選定品の拡充や販売量の拡大だけではなく、市民や全国の消費者の方々などの豊かな生活に貢献できることが大切です。

それらの観点からもブランドの展開や認定品の検討を進めていくとともに、その価値が正しく理解され、広く長く愛されるための双方向のコミュニケーションや情報交換などを通して、「深化したブランド」に育てていくことが求められます。

【継続的な展開で、信頼あるブランドへ】

おやまブランドの価値が評価され、特産品などの購入・利用を含めた継続的なブランドファンを育てていくために、消費者・利用者等の評価、要望などを上手に把握し、また改善点を見いだして内容を向上させていくことにより、更なる信頼を得ていく努力を重ねていく必要があります。

- 道の駅「思川」、まちの駅「思季彩館」を発信拠点とした販促・PR
- 道の駅「思川」、まちの駅「思季彩館」に小山コンシェルジェの育成
- 市内外の各種イベントへ積極的に参加し販促・PR
- おやまブランド認定品生産者に向けて、サービス、安全等に関する講習会の開催
- 来訪者へのもてなしとリピーターの増加方策の検討

【あらゆる市民活動、イベントで、ブランド認定品の活用を】

おやまブランドの周知と利用を図るためにも、市民の日常の様々な活動(イベント、会議、学習、その他)の場でブランド認定品を継続的、反復的に利用(販売、配布、PR)することが必要です。

- 会議やイベントにおけるブランド認定品の利用促進の徹底

【ブランド展開や利用における利便性の向上を】

おやまブランドに関する店舗や拠点、イベント会場などは必ずしも交通の利便性の高い場所とは限りません。マイカー利用のできない人、交通渋滞や駐車場不足を回避するためにも、公共交通によるアクセス手段の確保が必要です。

また、最近は無キャッシュレス社会が進展しており、特に来訪する外国人についてはその対応が必須とも言えます。交通や物販系、及びマイナンバーなどのICカードの有効活用が求められます。

- おやまブランドの拠点(店舗)やイベント会場などへのアクセス手段の確保
- マイナンバーカードなどのICカードを活用した利用促進や利便性向上

4-5. 認定品のわかりやすい再整理とPRの考え方

77品目ある認定品は、現状では「地酒」「食品」「菓子類」などの品目毎に分類されているものの、「多すぎてわかりにくい」との声がこれまでも寄せられています。これらの認定品については、以下のとおり、引き続き整理を進めていきます。

■品目の多い、「農畜産物」「食品」等の階層別による再編成

以下のような階層を設定し、目的に応じた効果的なPRを展開します

A. 基幹ブランド（階層1）

【代表的な原材料による体系化】

個別の認定品のPRではなく、小山市の特徴を一目で理解できることを目的として、小山市を表象する代表的な原材料を体系化します。（例：地酒、ハトムギ、米、野菜、かんぴょう、イチゴ、おやま和牛、おとん（豚）、など）

B. 主要ブランド品（階層2）

【主カメンバーの選抜】

認定品から、おやまブランドの推進を牽引する主力を選抜し、積極的にPRし、一定期間における実績等を検証し、必要に応じた入れ替えを行います。

C. 各種認定品（階層3）

【基幹ブランドとの関係を表示】

これまでパンフレット等でPRしてきた認定品について、基幹ブランドのどの要素を含んでいるものなのかをわかりやすく表示します。

【選定品の入れ替え】

これまでは一定基準をクリアすれば認定品とされましたが、実績等の検証、アンケート調査の実施による入れ替えを行います。

4-6. 事業者支援・育成方針

おやまブランドの着実な展開には、その主力を占める特産品や工芸品を生産する事業者の安定的な経営や発展に寄与することも大切であると考え、事業者の支援・育成の考え方を下記に整理しました。

①中小事業者との相輪によるブランド展開

魅力的な新たなブランド産品を生み出すには、様々な工夫と技術的課題を解決していくことが不可欠です。

個々の事業者の研究開発などを支援するとともに、そこで得られた有形無形の成果をブランド関係者共有の財産としていくことが、事業者育成とおやまブランド全体の発展のために必要です。

- | | |
|--------------------------------------|---------------------------|
| <input type="checkbox"/> 専門技術の産学官連携 | 商品開発に必要な事業者支援を行うしくみの整備 |
| <input type="checkbox"/> 技術・情報バンクの構築 | ブランド創生で得た技術・情報を全体財産として共有化 |
| <input type="checkbox"/> 行政のブランド創出支援 | 「中小事業者ブランド創出補助」などの整備 |

②消費者ニーズに応えたブランド品開発

おやまブランドの産品が消費者に受け入れられ愛される為には、消費者のニーズに対応した魅力あるものであり、かつ商業ベースとして成立する産品づくりが必要です。

そのためにも、ブランド産品の販売やPR等を通して得られたさまざまな情報を整理分析したうえで事業者へとフィードバックし、それらを十分に活用することが大切です。

- | | |
|------------------------------------|------------------------|
| <input type="checkbox"/> フィードバック | アンケートや消費者の意見を事業者に情報還元 |
| <input type="checkbox"/> ブランド化の種探し | 商品力のあるものや将来性のあるものの洗い出し |

中小事業者の経営安定と雇用の創出で地域経済の活性化へ